

20150205 台湾大学学生との意見交換

■吉田・中山グループ

・小中校の歴史で日本についてどう習ってきたか？

・日本に対するイメージは？

日本人は優しくてまちはきれい

日本のアニメやドラマみる

・歴史では植民地であったことを勉強。

ーどういう風に習っていたか？

1 非道化（最初は暴力による統治）

2 内地延長（台湾も日本の領地）

3 皇民化（台湾人も日本人に）

武力と現代化

1895年前は中国人と思う

1895年後に生まれた人は日本人と思う

祖母（82歳）は日本語できる

ー習った時のイメージは？

国民党に比べたらよい

台湾語禁止にして中国語に

30年くらい前のこと

衛星、鉄道、教育については日本やってくれたことよいイメージ

台湾のウーライ原住民と日本の警察もめた

ー日本について？

なぜ自民党支持層が多いのか？

なぜ、国民党負けたのか？

親中過ぎることにNO

台湾人としてのアイデンティティがある

台湾と日本が協力して発展できる部分

高齢化社会共通

老人ホームの技術を台湾が日本から学ぶ

農業テクノロジーで提携して共に発達

台湾は一つの国家であり独立推進すべき

日本人に関心持って台湾の立場考慮してほしい

民間交流は活発だが、外交は中国の目を伺ったりと障壁

日本の若者は政治に無関心多いのでは？

政治が自分たちと関係することが教えてこられなかった（吉田）

歴史から学ぶとわかりやすいが、そういう教育受けてない

歴史教育で歪められてきた部分があることも感じる

台湾の政治、総統は直接選挙（内田）

ひまわり運動、九合一。9つの役職を一度に決める選挙

国民党大敗した選挙結果にも表れた

台北市長は医者で民進党でも国民党でもない、ホワイトカラー

日本の大学生は留学のチャンス多いか？

台湾大学の学生は3分の1は留学する

アメリカで修士課程とっている人多い

台湾も留学生減っている傾向有

学費高く、負担大きい。働きながら学校に通っている学生も多い

学歴社会

日本ではどう思うか？

日本の大学生は学費年100万。親が払う。なのに遊んでいる

大学生活の4年間は人生の夏休み

これについてどう思うか？

台湾も大学レベルピンきりだが、意識低い学生多く、差がないのでは。

台湾の大学の問題は大学が多すぎる。

子ども減って定員割れ。

勉強が好きじゃない人が行くのは遊びと同じ

かつての意識は？

有名大学入るには経済力もいる

塾通いでお金もいる。裕福な家庭有利

経済的格差が反映

夢はなにですか？

言語学者になりたい

国際連合での障害者の人権の取り組み研究したい

連合国に台湾加盟してほしい

環境に関連する農業

農場開設したい

生物医療

全体的に若者は夢をもっているのか？

ない人も多い

公務員になるという選択。なぜか、安定を求めて

なぜこのような現状生まれているのか？

台湾の大学を出て、初任給 2万2千元

経済不安定とずっとと言われており、伸びてこない

残業手当もでない。だから公務員
台湾の将来を描いているのか？
馬英九、政治と若者の考えのギャップ
政権が短期で変わり長いスパンでできないこと問題
ここ 30 年でというキーワードが多かった。自給率 etc . . .
大卒でも賃金低いので、将来に対してよいイメージ描いていない

■ 浜村・小川グループ

太陽ひまわり運動に参加
一言で、この運動ですべてが変わった
マスコミ、若者の意識、政権に反映された
中国資本マスコミ、台湾マスコミ
中国資本マスコミは太陽ひまわり運動で集まった人数を 35 人と報道
事実と明らかに違うことに、おかしいと思った
学生たちが社会に目を向けるようになった
常に疑いの目で世間を見るようになった
政権与党変わりこれから一年が勝負
国民党は政策ねじ込んでくるだろうから、厳しい目でみないといけない
二人の首謀者（学生）が SNS 使って呼びかけた
統制されてチームとして成立
小さいグループが集まったが、補完的に機能しあった
学生の呼びかけに社会人もなだれ込んできた

推察：与党に批判的な因子。表立っては活動できなかったが、学生が矢面に出てくれたことで、後方支援もしやすくなったことが、動きを大きくする要因になったのではないか。

物販、医療対策、法律の大きく 3 つの役割機能分担

教育の話

彼女たちが学校で学んだ日本統治時代の歴史

日本の「支配」と書かれていた。

日本に対して悪いイメージはもってないが

市議会議員団が台湾訪問した際、ホテル側からキャンセル申し入れた事件

馬政権が半日だからこういうことがあったのでは、とも考える

イスラム国、沖縄知事選等々 日本の若者は何をしたら立ち上がるのか？と質問

馬政権になってから、アイデンティティ喪失危機感、独立志向

台湾独立の為に、法律の面から支えたいという志

2月6日18時から

小栗山さん（李登輝元総統秘書）、迫田さん（東京新聞中日新聞）、山本高史静岡県議
浜村、小川、吉田、中山、南出

蒋介石時代の戒厳令

- ・警察、教師、公務員、なりたければ国民党に入党しなければなれなかった
男が泣きながら入党している様をみてきた

- ・台湾独立について

国民党支持者の話

独立といっても中国は台湾に常にミサイルを向けている

その時、日本は助けに来てくれるのか？

だから現状維持がよい

- ・李登輝元総統に秘書時代

李登輝氏出演のニュースの原稿チェックについて

馬政権が言ってもないことを、お願いしますから言ってくださいと懇願されたことも

- ・沖縄訪問時

ニュース出演で尖閣諸島には触れないで秘書から言ったが

李登輝氏ニュース出た瞬間「尖閣諸島は日本固有の領土です」と発言

- ・太陽ひまわり運動には前段がある話

- ・第一弾は2008年のいちご運動 早期に収束

- ・第二弾は白ゆり運動

- ・2008年当時のリーダーの下で動いていたメンバーが今回の太陽ひまわり運動のリーダー

- ・これまでの間、資金、チーム編成、広報線戦略等チームビルディングを緻密に実行

- ・その結果があって、今回のひまわり運動で国が学生の主張を一部認め動くまでになった